

旭硝子株式会社 2014 年度 12 月期 第2四半期決算 主な質疑応答

広報・IR 室

【全社】

Q1. 通期の業績見通しを下方修正した要因を教えてください。

A1. 上期に電子事業で一時費用が発生したこと、また液晶用ガラス基板やディスプレイ用特殊ガラスの出荷数量および販売価格が当初想定を下回ったことが主な要因です。

Q2. 会社計画では下期に営業利益の改善を見込んでいますが、事業ごとの改善要因を教えてください。

A2. 下期には全事業で業績が改善することを見込んでいます。ガラス事業は、特に欧州建築用ガラスで需要期に入ることに加え、2Q に実現した値上げの効果が寄与することを見込んでいます。電子事業は液晶用ガラス基板の需要が増えることが見込まれ、化学品事業は医農薬中間体・原体などが需要期のため出荷が増える見通しです。

【ガラス】

Q1. 第2四半期の欧州建築用ガラス事業の状況を教えてください。

A1. 出荷は全地域で堅調に推移しました。価格は全地域で第2四半期に改善したものの、東欧では前年同期と比べて低い水準となっています。構造改革施策の効果もあり、収益は前年同期比で改善しました。

【電子】

Q1. 液晶用ガラス基板の前四半期比の出荷、価格動向を教えてください。

A1. 2014年第2四半期の出荷数量は1桁半ば%の増加、価格は1桁前半%の下落となりました。

Q2. ディ스플레이用特殊ガラスの状況を教えてください。

A2. 主な用途のひとつであるタブレット市場の不調や競争環境激化などの影響で、通期の売上は当初想定を下回る見込みです。

以 上